



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月27日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
 コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 堀田 佳伸
 (氏名) 水科 隆志
 TEL 06-6454-2331

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,656	8.1	96		135		201	
2021年3月期第1四半期	12,689	7.5	111		115		160	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 191百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 170百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	6.35	
2021年3月期第1四半期	5.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	80,613	40,892	50.7
2021年3月期	80,381	41,214	51.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 40,845百万円 2021年3月期 41,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.00	15.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	4.5	0	100.0	0	100.0	0	100.0	0.00
通期	55,000	3.1	1,300	30.7	1,200	4.4	1,000	40.4	31.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	31,850,000 株	2021年3月期	31,850,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	170,935 株	2021年3月期	90,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	31,725,659 株	2021年3月期1Q	31,740,531 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による3度目の緊急事態宣言の発令、まん延防止等重点措置の適用等により経済活動が冷え込み、厳しい状況で推移いたしました。全国的にワクチン普及への動きがみられるものの、変異ウイルスによる感染再拡大も懸念される状況にあります。また、世界経済におきましても、米国や中国ではコロナ危機からの回復を加速させているものの、新興国では感染拡大に歯止めがかかっていない地域もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要な販売先である造船・海運業界につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の先行きには不透明感はあるものの、継続する巣ごもり需要を背景にコンテナ船の需要が拡大しております。一方、東南アジア等においてロックダウンや移動制限等もあり、メンテナンス需要の本格的な回復には至っておりません。

このような企業環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,656百万円(前年同四半期比8.1%減)となり、利益面におきましては、営業利益は96百万円(前年同四半期は111百万円の営業損失)、経常利益135百万円(前年同四半期は115百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円(前年同四半期は160百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

機関売上では防衛省向けを中心に減少したものの、商用向けの採算性が良化したこと等により、売上高は9,772百万円(前年同四半期比15.7%減)、セグメント利益は837百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

ロ) 陸用機関関連

機関売上およびメンテナンス関連の売上が増加したこと等により、売上高は991百万円(前年同四半期比123.0%増)、セグメント損失は285百万円(前年同四半期は339百万円のセグメント損失)となりました。

従いまして、当部門の売上高は10,764百万円(前年同四半期比10.5%減)、セグメント利益は551百万円(前年同四半期比29.7%増)となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、販売数の増加により売上高、セグメント利益とも増加となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微減となり、セグメント利益は減少となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも減少となりました。

ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高は減少となり、セグメント損失は縮小となりました。

従いまして、当部門の売上高は892百万円(前年同四半期比35.4%増)、セグメント利益は98百万円(前年同四半期比208.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部では、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、4,970百万円増加となりました。また、棚卸資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,260百万円増加となりました。一方で、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形、売掛金及び契約資産が前連結会計年度末に比べ、5,416百万円減少となりました。その結果、資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、231百万円増加し、80,613百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ、593百万円増加となりました。一方で、短期借入金と長期借入金の合計は、約定返済等により、424百万円減少となりました。その結果、負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、554百万円増加し、39,721百万円となりました。

純資産の部では、配当金の支払等により、利益剰余金が274百万円減少となりました。その結果、純資産の部合計では、前連結会計年度末に比べ、322百万円減少し、40,892百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年4月28日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,327	25,298
受取手形及び売掛金	17,970	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	12,553
棚卸資産	10,725	11,986
その他	1,639	1,470
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	50,651	51,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,646	9,513
機械装置及び運搬具（純額）	5,914	5,741
土地	5,084	5,084
建設仮勘定	387	379
その他（純額）	891	805
有形固定資産合計	21,925	21,524
無形固定資産	942	868
投資その他の資産		
投資有価証券	2,669	2,715
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	3,677	3,747
その他	570	515
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	6,862	6,922
固定資産合計	29,730	29,315
資産合計	80,381	80,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,373	5,743
電子記録債務	4,172	4,395
短期借入金	6,545	6,303
リース債務	441	415
未払法人税等	473	100
賞与引当金	625	211
役員賞与引当金	6	12
未払費用	3,271	3,101
その他	1,193	2,501
流動負債合計	22,103	22,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
固定負債		
長期借入金	6,711	6,528
リース債務	482	431
役員退職慰労引当金	66	26
退職給付に係る負債	7,225	7,362
資産除去債務	193	193
その他	2,384	2,391
固定負債合計	17,063	16,934
負債合計	39,167	39,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,171	2,171
利益剰余金	36,901	36,627
自己株式	△42	△80
株主資本合計	41,465	41,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247	233
為替換算調整勘定	△36	10
退職給付に係る調整累計額	△509	△551
その他の包括利益累計額合計	△298	△306
非支配株主持分	47	46
純資産合計	41,214	40,892
負債純資産合計	80,381	80,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	12,689	11,656
売上原価	10,525	9,282
売上総利益	2,163	2,374
販売費及び一般管理費		
販売費	1,706	1,724
一般管理費	568	553
販売費及び一般管理費合計	2,275	2,277
営業利益又は営業損失(△)	△111	96
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	16	26
持分法による投資利益	—	25
業務受託料	1	10
貸倒引当金戻入額	1	1
雑収入	35	13
営業外収益合計	55	78
営業外費用		
支払利息	23	21
持分法による投資損失	21	—
為替差損	5	14
雑損失	8	3
営業外費用合計	58	39
経常利益又は経常損失(△)	△115	135
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	—	125
特別利益合計	0	125
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	4	2
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120	259
法人税、住民税及び事業税	102	104
法人税等調整額	△59	△46
法人税等合計	43	58
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△163	200
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160	201

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△163	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△13
為替換算調整勘定	△3	8
退職給付に係る調整額	27	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	39
その他の包括利益合計	△7	△8
四半期包括利益	△170	191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△168	193
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,585	444	12,030	659	12,689	—	12,689
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,585	444	12,030	659	12,689	—	12,689
セグメント利益又 は損失(△)	764	△339	425	31	457	△568	△111

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,772	991	10,764	892	11,656	—	11,656
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,772	991	10,764	892	11,656	—	11,656
セグメント利益又 は損失(△)	837	△285	551	98	650	△553	96

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率	
				%
内燃機関部門	馬力			
船用機関関連	201,250	9,772		△15.7
陸用機関関連	1,306	991		123.0
その他の部門	—	733		46.9
合 計		11,497		△8.2

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	544,260	17,767 (9,327)	63.8	1,576,148	32,762 (15,333)	23.8
陸用機関関連	21,012	2,715 (84)	103.8	99,855	6,460 (313)	6.8
その他の部門	—	685 (—)	8.1	—	646 (—)	△21.6
合 計		21,168 (9,411)	65.2		39,868 (15,646)	19.6

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② () 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率	
					%
内燃機関部門	馬力		%		%
船用機関関連	201,250	9,772 (5,769)	59.0		△15.7
陸用機関関連	1,306	991 (84)	8.5		123.0
その他の部門	—	892 (—)	—		35.4
合 計		11,656 (5,853)	50.2		△8.1

(注) ① () 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア (63.2%)、欧州 (24.5%)、中南米 (6.2%)、北米 (2.9%)、その他 (3.2%)

③「その他の部門」には精密部品関連 (295百万円)、産業機器関連 (438百万円) および不動産賃貸関連等 (159百万円) を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。